



と 京 都



社会福祉法人 京都福祉サービス協会

人と京都と、共に歴史を歩んできた
社会福祉法人「京都福祉サービス協会」。
福祉を仕事にすること、
そして京都ではたらくこと。
その両方をイメージしてもらいたい。
わたしたちの職場、
そこではたらく人たち、
その思いをご案内いたします。

Contents

- | | | |
|-------------------|-------------------|-----------------|
| 01 京都福祉サービス協会について | 06 付録 協会版 京都マップ | 13 働き方について |
| 03 写真で見る協会 | 10 数字で見る協会 | 14 キャリアパス・給与モデル |
| 05 理事長メッセージ | 11 職員座談会 | |

くらしに

笑顔と安心を

目の前の人はいま、なにを求めているんだろう。

その求めに応えていくために、自分にはなにができるだろう。

つねに相手にボールを置いて、その1日を生きる喜びを、ともにつくっていく。

その土台となるのは「笑顔」だと、わたしたちは考えています。

笑顔は、相手の存在をまるごと承認すること。「わたしはここにいていいんだ」。

そう感じてもらえる力があります。

これからの時代。

くらしに笑顔と安心をつくり出していくには、職員や地域の皆さんはもとより、

自治体や企業の担い手とも連携をはかっていく必要があります。

たゆまぬ試行錯誤の先に「だれもが自分らしくくらせる京都」をつくっていく。

わたしたちは、常に「社会福祉」の意味や役割を問い直しながら、

人と京都と共に歩みつづける法人であり続けたいと考えています。



社会福祉法人 京都福祉サービス協会

ようこそ！京都福祉サービスをめぐる旅へ

このガイドブックは、わたしたち京都福祉サービス協会のまるごとを、

コンパクトにお伝えする採用ガイドブックです。

福祉を仕事にすること、京都ではたらくことの楽しさ、はたらく人たちの言葉を

「旅行ガイド」を読むように、気軽に楽しんでもらえたらうれしいです。

そしてその先で、皆さんがわたしたちの仲間になってくれる日を心待ちにしています。

では、人と京都をめぐる旅へ、あなたをお連れしましょう！

Kyoutokai Timeline

京都福祉サービス協会の
これまでとこれから

1986

京都ホームヘルプ
サービス協議会
誕生

法人の前身である京都ホームヘルプサービス協議会が誕生。高齢者や身体障害のある方を対象としたホームヘルプサービスを展開した。発足当時のメンバーは職員1名と登録ヘルパー28名。当時唯一の職員だった宮路博は、現在は理事長に。

1991

ホームヘルプ事業に対するニーズの高まりを受け、京都市と連携してヘルパー養成研修事業をスタート。これまでの33年間で登録されたヘルパーは9000人。研修参加者は2万人にものぼる。

1993

社会福祉法人
京都福祉サービス協会
設立

社会福祉法人京都福祉サービス協会を設立。独立した法人ではなく京都市の外郭団体としての法人化であった。京都市と連携して施設を開設・運営しながら、時代に応じた事業を展開していくことになる。

1994

伏見区に「ケアハウス久我の社」を開設。生活不安がある高齢者が集住する軽費ケアハウスという形態の施設は、京都市内で初の開設だった。

1995

心身障害児・者ホームヘルプ事業を開始。当時、ヘルパーのなかに障害児の母親がおり、困りごとを抱えていたことから京都市と連携して事業を考案。実際のサービスへとつながった事例。

1996

特別養護老人ホームと児童館、在宅介護支援センターなどを併せ持つ「塔南の園」が西九条にオープン。施設福祉サービスと児童福祉が統合された施設は現代では増えつつあるが、当時としてはかなり画期的なものだった。

福祉ボランティアの多様なニーズに対応するサービス提供の時代。



経営企画室長 1988年入職 増田 秀一

創業から2000年代にかけては「とにかくいま助けを必要としている人たちを支える」ための試行錯誤の連続。新しいものを取り入れるカラーは、設立当初から変わってないな、と感じます。

2006

協会の6施設にあった在宅介護支援センターを「地域包括支援センター」に改編。ソーシャルワーカーの活躍の場が大きく広がった。

2005



本能小学校跡に特別養護老人ホーム「本能」開設。市立堀川高校と同じ敷地内にあり、福祉学習などの取り組みなどが始まったほか、利用者も町内会に加入するなど地域と協働する「まちづくり」が本格化する契機となった。

2003

精神障害者居宅介護等事業を開始。精神疾患のある方の自宅にもヘルパーを派遣。協会に登録するヘルパーたちは専門的な研修を経てケアにあたった。

2001

京都市の委託を受けて修徳児童館が開設。特別養護老人ホームや市立図書館が併設されている。翌2002年に小川小学校跡に建設された特別養護老人ホーム「小川」には市立幼稚園が合築されるなど、この時代は大型複合福祉事業所の建設が相次いだ。

2000

介護保険制度施行

介護保険制度が始まる。これまでは市民が受けるサービス内容を行政側が決定していたが、この制度により、個人がサービスを選ぶことができるようになり、さまざまな介護サービス事業所が日本各地に誕生した。

拠点拡充期
京都市内に次々に施設を開設し、組織としての基盤が広がりました。



事業本部長 1999年入職 井上 章

2000年以降は、ケアの質の向上に集中的に取り組み、更に、職員も利用者さんも「地域の一員」として、地域に出向き、積極的なまちづくりに参画していくことを大切にしてきました。

2024



外部の人たちとも連携しながら、対話によって協会のビジョンを考える「2030VISION構想プロジェクト」がスタート。外部の人材とも連携し「VISIONワークショップ」などさまざまな対話イベントを開催しながら協会の未来を構想した。

2022



高齢化が進む西野山団地での「まちづくりプロジェクト」が始まる。2024年には、まちづくり活動の拠点として旧居室をリノベーションした「コミュニティカフェ107」「コミュニティスペース106」がオープン。さまざまな企画が生まれている。

2021

地域共生社会
推進センター発足

地域共生社会推進センターを設置。協会の各事業所が独自に行ってきた地域貢献事業の企画を後押しするとともに、それぞれの連携を進めるための組織として立ち上げられた。

2019



西院デイサービスが地元の三条商店街とコラボした「sitteプロジェクト」が、NHK厚生文化事業団「認知症と共に生きるまち大賞」に輝く。施設の利用者が「sitte」というブランド名の「まな板」の仕上げ作業を行うことで、地元の商店街で使える金券が得られる仕組み。循環型の福祉プロジェクトとして評価された。

つながり福祉重視の時代へ
地域に足場を築き、まちづくりへと活動を広げていきます。



1



2



6



7



3

1/2/3

あなたにとって、家でありたい

特別養護老人ホーム、デイサービスセンターなどの高齢者福祉施設を運営しています。「サービス提供者」であるだけでなく「二人三脚のパートナー」として、共に笑い、悲しみ、くらしします。

京都 福祉サービス協会 の日々

笑顔があるから安心できる。笑顔があるから、受け入れてもらっていると感じられる。笑顔は、だれかにとっての居場所になる。そう、笑顔とは福祉の仕事の土台にあるもの。わたしたちのあらゆる仕事、あらゆる時間が、あなたの、そしてわたしたち自身の笑顔につながっています。

わたしたちは、京都市広域で福祉の取り組みを行う社会福祉法人です。特別養護老人ホームやデイサービスセンター、児童館などを運営しながら、ご高齢の方や障害のある方への訪問介護サービス、さまざまな相談支援、さらにはまちづくりの取り組みなど100を超える事業を手がけ、2000名以上の職員がはたらいています。



4

5



4/5

住まいに向いて、くらしを支える

高齢の方だけでなく、障害のある方や子育てに難しさのある方を支えるため、ご自宅へ同うホームヘルプ事業にも長く取り組んできました。小さな変化を見逃さず、くらしを支えています。

9



8/9

だれもが自分らしく生きられる京都を

施設を飛び出し、地域みんなの手を携えながら、福祉を土台にしたまちづくりの実践が始まっています。山科区にある「西野山団地」ではコミュニティデザインプロジェクトが進行中です。



8



人と京都と、 そして「あなた」と歩み続ける

理事長 宮路 博

この法人に関わって38年になります。大学院を卒業したばかりのわたしは、法人の前身となった協議会が立ち上げられたとき、たったひとりの職員事務局アルバイトでした。登録したの28名のヘルパーの皆さんと一緒に、困りごとを抱えた方のご自宅に伺って、くらしを支えるという仕事でした。それまではあまりノウハウが確立されておらず、存在感もうすい仕事でしたから、迷いも悩みもたくさんありました。

あるとき、あるヘルパーがこんな話をしてくれたのを覚えています。自分が初めて訪問したときには笑顔もなくうつむいていた利用者が、2か月くらい経ったら、身の上話をしてくれたり、あれ食べたい、これやりたいと笑顔で話してくれるようになり、いつしか「また来てや」と元気に声をかけてくれるようになった。それがうれしいと涙まじりに話してくれたんです。

わたしたちが目指すのは、「ここにいてよかった」「あなたがいてよかった」

「これから京都でくらせるんや」というだれかの笑顔なんや、わたしたちは、だれかの笑顔と安心を引き出す存在にならなければダメなんだと気づかされ、その思いを持ち続けて38年。今なお、人と京都と、そして福祉に関わり続け、法人の職員は、ヘルパーを含めると2000名を超えるまでになっています。

互いに学び、共に育つ組織へ

だれかに笑顔になってもらうには、自分も笑顔でなければいけませんし、仲間たちの協力も欠かせません。福祉の仕事は想定外のことがよく起きますから、そのたびに自分をふり返って、自分の考えや行動のどこに課題があったのかを考える必要があります。「こんな生き方があるのか」「こんなおもしろいと考え方があるのか」と、常に柔軟な気持ちで物事を受け止めていくことも大事です。つまり、変化する自分や他者を受け入れ、変化をおそれずに学び続ける

ことが笑顔の原動力になっていくということです。互いに学んで共に育つ。そういう組織でありたいと思っています。

これからの社会福祉法人は、不透明な時代にありながら、地域を見すえて、そこにくらすさまざまな人たちと関係を築いていかなければなりません。わたしたちがそうであったように、進取の気概とケアの精神を持って、困難な時代に立ち向かっていくことがより一層求められています。

人間は社会的な生き物。孤立していたら、笑顔も変化も生まれません。他者と共にいるからこそ成長し、そこに笑顔と安心が生まれるのだと思います。さまざまな人たちがそれぞれに生きづらさを感じる時代です。だからこそ私たちは、目の前の人、そして京都という地域に向き合い、変化をおそれない仲間たちと歩みを進めていきたいと思っています。その「仲間」には、もちろんあなたも含まれています。わたしたちの仲間に、ぜひ加わってください。



京都福祉サービス協会版
京都マップ

市内各地に寺院や神社、歴史的建造物、個性豊かなショップが立ち並び、世界中から訪れる人々を魅了する京都。その京都のまちに、まんべんなくわたしたちのはたらく施設や拠点が広がっています。京都とともにあるわたしたちの仕事場。地域の見どころも含めて、マップ形式でご紹介しましょう。

Illustration: Ohara Reika

1

認知症デイ、特養、デイ、
居宅介護支援、包括
高齢者福祉施設
紫野

京都市北区紫野西野町15番



船岡山公園、大徳寺などに隣接
する風光明媚な場所。「みんなが
大切」をテーマに掲げる。

2

訪問介護、居宅介護支援

小川事務所

京都市上京区小川通今出川下る
西入東今町375番



事務所の隣が「みつば幼稚園」。
子どもたちの声が毎日聞こえる
元気で穏やかな雰囲気。

4

特養、ショート、デイ、居宅介護支援、
包括

高齢者福祉施設 本能

京都市中京区錦薬師通油小路
東入 元本能寺南町346番



カフェや遊歩道があり地域の方々に
愛される。信長公も入居
したかったに違いない。

5

児童館

修徳児童館

京都市下京区新町通松原下る
富永町110番の1



鳥丸五条の大通りから住宅街に入
った地域の憩いの場、修徳公園に
隣接。都心のオアシス。

7

特養、ショート、デイ、訪問介護、
居宅介護支援

高齢者福祉施設 西七条

京都市下京区西七条八幡町29番



阪急西京極駅そば。利便性の高い
場所で、複数の介護・福祉事業
を一手に担う。

9

特養、ショート、デイ、居宅介護支援

総合福祉施設
塔南の園

京都市南区西九条菅田町4番の2



高齢者施設と児童館が併設する。
開所当時は画期的施設。世界
遺産「東寺」に近い。

2

特養、ショート、デイ、包括、予防推進

高齢者福祉施設 小川

京都市上京区小川通今出川下る
西入東今町375番



テラスから京都御所や五山の送り
火「左大文字」が望める。毎月
第一金曜のパン販売も人気。

3

小多機

笑顔とやすらぎの家
おがわ



京都市上京区
小川通一条上る
葺堂町586番
の4

小規模多機能型の利点を活かし、
西陣織、お茶文化などを活用
したイベントを多数企画。

5

特養、ショート、デイ、居宅介護支援、
包括

総合福祉施設 修徳

京都市下京区新町通松原下る
富永町110番の1



修徳小学校の跡地にあり、最寄り
は地下鉄五条駅。買い物や寄
り道に最高の立地。

6

小多機、居宅介護支援

笑顔とふれあいの家
みささぎ

京都市山科区御陵原西町42



元旅館で趣ある建物。東屋や菜園
があり地域の憩いからも愛される。
地下鉄御陵駅に近い。

5

小多機、グループホーム

地域密着型
サービスセンター 桂坂

京都市西京区大枝北谷掛町
1丁目21番の94



洛西ニュータウン北部にあり静か。
標高は京都タワーの頂点と
同じで紅葉の見ごろも早い。

9

児童館

塔南の園 児童館

京都市南区西九条菅田町4番の2



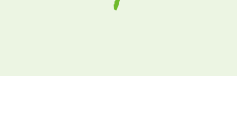
近隣に保育所や青少年活動センタ
ーなどがあり、多世代交流を
生み出すまちづくりを実践。

10

デイ、居宅介護支援、包括

高齢者福祉施設
西院

京都市右京区西院上今田町
18番の3



嵐電西院駅が周辺にあり乗り鉄
の写真スポットとして有名。協
会の鉄オタたちも来所？

11

小多機、カフェ

welcome

やまの家(うち)

京都市右京区山ノ内宮前町
5番の10



多世代が暮らす静かな住宅街の中
にあり、カフェ「e-ばしょ」を
併設。みんなうえるかむ。

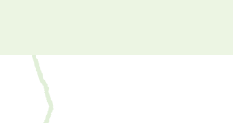
12

ケアハウス、デイ、居宅介護支援、
包括

高齢者福祉施設

久我の杜

京都市伏見区久我東町202番の6



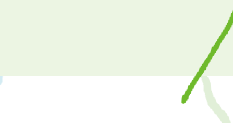
酒どころ伏見に立地。協会唯一
のケアハウスを有する。ご夫婦
で暮らす二人部屋も用意。

13

訪問介護、居宅介護支援

北事務所

京都市北区紫野上御所田町
9番の1



北大路堀川に立地し、北区全般
のサービスを担当。大徳寺の東
にあり京都らしい風景。

14

訪問介護、居宅介護支援

高野事務所

京都市左京区高野西開町5番
京都市左京区合同福祉センター3階



利用者1000名を超える市内有
数の大規模事業所。左京区合同
福祉センターと同じ建物。

15

訪問介護、居宅介護支援

太秦事務所

京都市右京区常盤一ノ井町
8番の3 カリオン大町1階



北に仁和寺、東に妙心寺、南に
蚕ノ社、西に太秦映画村。協会
随一の「京都感」。

24

夜間対応型訪問介護

ナイトケアセンター

京都市中京区西ノ京銅駝町
37番の2



西大路御池駅と二条駅にほどこ
かく、アクセス抜群の立地から
すばやくヘルパーを派遣。

22

児童館

明徳児童館

京都市左京区岩倉忠在地町
215番の2



比叡山が一望できる地域。豊か
な文化と自然に恵まれた場所
で子どもたちに元気を届ける。

20

訪問介護、居宅介護支援

醍醐事務所

京都市伏見区醍醐大構町
16番 内海ビル



豊臣秀吉が茶会を催した醍醐寺
そば、醍醐山全体が仏山。醍醐
エリアはお任せあれ。

15

訪問看護

訪問看護ステーション
ばあとなあず南

京都市南区西九条大國町
48番の2



協会内唯一の訪問看護サービス
事業所。かかりつけ医と連携し
て医療的なケアも実践。

17

訪問介護、居宅介護支援

西京事務所

京都市西京区桂下豆田町
14番の7



都市と自然、文化のバランスが
よく暮らしやすいと人気の洛
西。住むならここだ！

16

訪問介護、居宅介護支援

朱雀事務所

京都市中京区壬生御所ノ内町
39番の5



法人本部と同じ建物の1階にあ
る事務所。かつては壬生の浪士
たちも歩いたかも。

25

研修センター

人材研修センター

京都市中京区
壬生花井町
23番
四条柴ビル2階



職員の研修だけでなく市民講
座なども実施。節分には特にぎ
わう壬生エリアに立地。

23

児童館

錦林児童館

京都市左京区岡崎入江町8番



錦林小学校の敷地内にある児童
館。周辺には浄土宗大本山・金戒
光明寺も。南無阿弥陀仏。

21

訪問介護、居宅介護支援

伏見事務所

京都市伏見区大宮町577番の1
ルミエール丹波橋1階 101A



伏見稲荷大社や桃山御陵を擁す
る観光地・伏見全域にヘルパー
を送り出す拠点。

19

訪問介護、居宅介護支援

山科事務所

京都市山科区柵辻平田町184番



高齢化の進む山科で奮闘。
地下鉄東西線の柵辻駅近く。
空気がうまい。

15

訪問介護、居宅介護支援

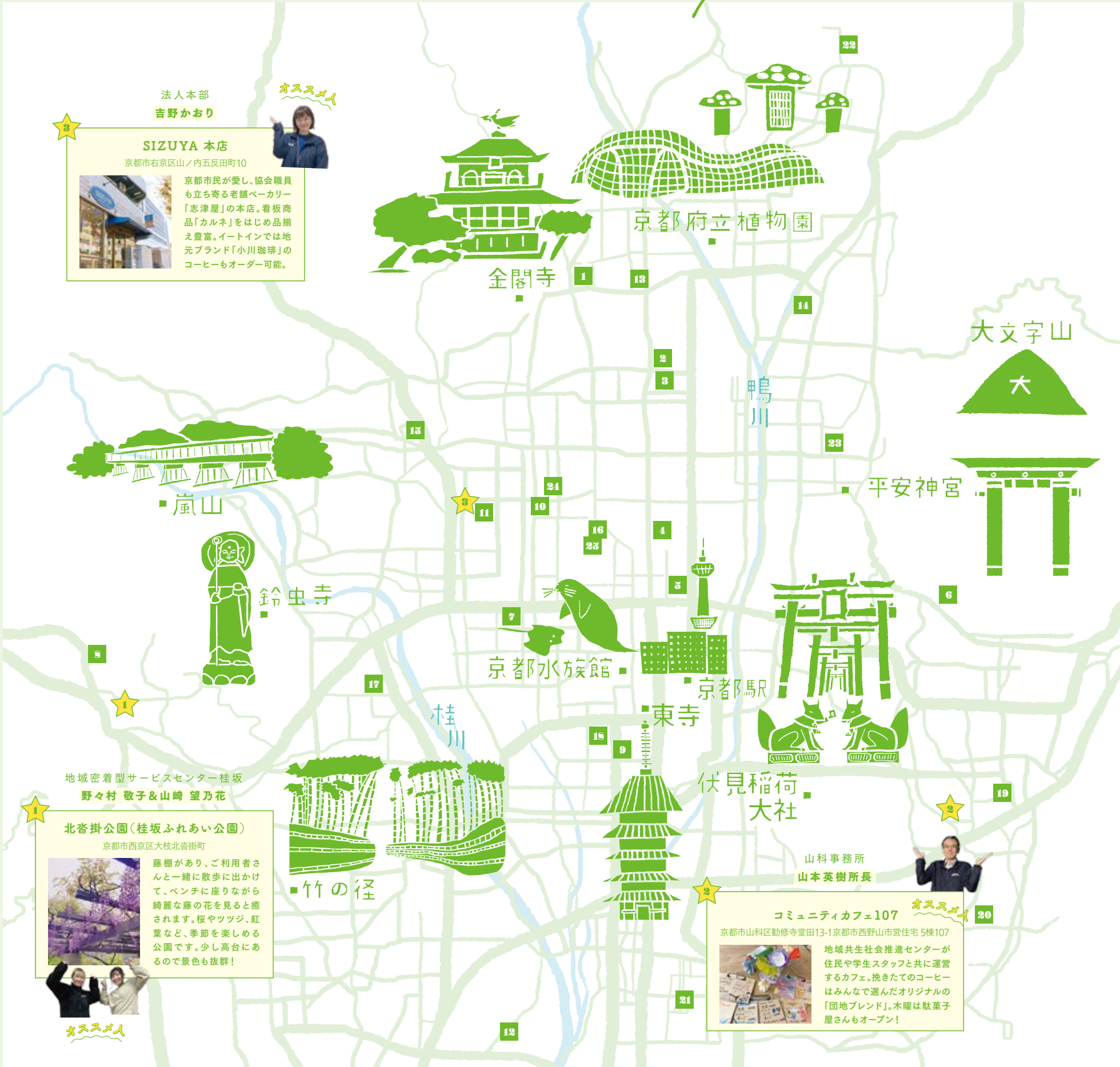
南事務所

京都市南区西九条大國町
48番の2



平安京羅城門跡から南へ徒歩5
分。東寺にほど近い場所で南区
のサービスを担当。

働きながら、くらしながら、
旅するように



人と京都に 根ざしてはたらく人たちの 仕事場を巡っていたら 福祉を旅することになっ てしまった件

筆者は東北の南端、福島県いわき市で活動している。たまたまご縁あって京都福祉サービス協会（以下、協会）の取り組みにかかわることになり、月に2度ほどのペースで京都に行かせてもらっている。福島県民にとって京都といえば、会津藩主・松平容保が京都守護職を任せられ、京の治安維持にあたらせてもらってからのご縁。浅からぬものがある。

協会の仕事に関わり始めたころ、京都駅から本部まで歩いて行ったことがある。梅小路公園を抜け、丹波口の駅を横目に見ながら千本通を北に歩く。道中、喉が渴いたのでセブンイレブンに寄って驚いた。店名「セブンイレブン壬生辻町店」。なんだこの店名は！ かけー！ 「壬生」の地名が当たり前に存在していることに驚き羨望のまなざしを向けつつさらに道を歩いていくと、道中に壬生寺もあった。

さらにそこから5、6分ほど歩くと協会本部に到着する。地名は壬生御所ノ内町。名前の由来を調べたら、どうもこのあたりはもともと田園の広がる地域だったが、高倉天皇や平清盛の邸宅が建てられたことから「御所ノ

内」という地名になったという説があるようだ。なんとも歴史的な場所に協会本部はある。この場所にも、京都の過去の歴史だけでなく「いまの日常」を見つけた。建物の外に置かれたたくさんの自転車。その日のシフトや要請に合わせて、ヘルパーの皆さんがこれに乗ってご利用者さんのご自宅へと赴く。世界に冠たる古都の風情と佇まいのなかに、いまの暮らしがあり、それを支える人がいる。その象徴が「自転車」なのだ。

京都に暮らして、今日を支える

その後も、ぼくは協会本部に行くたびに施設や取り組みについて繰り返し説明を受けてきた。実際に見た施設のうちもっとも痺れたのは特別養護老人ホームやデイサービスセンターが併設された「本能」。あの本能寺の跡地のすぐそばにあるだけでなく市立高校と同じ敷地内にある。歴史や教育まで包摂する、超絶インクルーシブな施設なのだ。

それ以外にも、洛北の福祉を担う協会の施設「紫野」は、平安京七野のひとつ「紫野」から名付けられて

おり、『光る君へ』が放映中だけにその響きたるや「まさに京都！」と感じるし、ヘルパーの拠点となっている「太秦事務所」は老舗芸能プロダクションの事務所みたいでカッコいい。施設は京都市内に四散し、洛中洛外東西南北にネットワークの網が張り巡らされている。施設の位置を示したマップを見れば、協会が京都に生きる人たちを包み込むようにして事業を展開してきた歴史が見えてくるだろう。

施設をめぐるうち、「福祉」という言葉の持つイメージも変わっていった。福祉の仕事は、困りごとのある人たちを支えるプライベートな仕事であり、その意識は「内」に向かう。だが、いったん目の前の人へと向けられていた視線はその先で「外」に突き抜けて、地域を、京都を捉えはじめ。地域と切り離されて暮らす人はいない。福祉の仕事は、地域を守り維持する公共性を帯びていき、だれもがその人らしく生きられる「まちづくり」と交差していくのだ。ぼくは、これからも京都を歩く。そして福祉を旅する。まだ行っていない施設にも足を運んでみたい。きっとそこに、京都のもっとも京都らしい風景が見えてくるはずだ。



ヘキレキ舎 代表／地域活動家
小松 理虔

1979年福島県いわき市生まれ。地元商店街でオルタナティブスペースを運営しながら、食や観光、医療福祉、文化芸術など幅広い分野の企画に携わる。いわきの地域包括ケアの取り組み「igoku」でグッドデザイン金賞、単著『新復興論』で第18回大佛次郎論壇賞を受賞。2023年から京都福祉サービス協会の「2030VISION構想プロジェクト」に関わり始め、京都にも頻繁に足を運んでいる。

writing

数字で見る 京都福祉サービス協会

売り上げ

84億
2,300万円

職員数



平均年齢

44.6歳

平均勤続年数

11年

残業時間

8.5平均時間／月

有休取得率

75.4%

年間休日とは別に入社日から20日の有給休暇が付与されます。有給休暇を取得して、仕事とプライベートのメリハリをつけている職員も多いです！

育休産休復帰率

100%

23年度24名、22年度20名、21年度18名が育休産休を取得しました。パパ育休も増えており、3年で10名の男性職員が育休を取得。

資格保有者数

介護福祉士

1,336名

社会福祉士

124名

介護支援専門員

381名

初任者・実務者研修

1,656名

法人内人材研修センターで初任者研修と実務者研修を無料で受けることができます。多くの職員が働きながら研修を受けています。介護福祉士、介護支援専門員は業務時間内で取得できる支援があるため、働きながら取得し、キャリアアップしていく職員も多いです。他にも教員免許や保育士、看護師、栄養士、保健師など専門性を持った人が活躍しています。

男女比
正職員

38%男性 62%女性

管理職

67%男性 33%女性

時短勤務の取得期間を延長し、育児しながらも働ける環境をつくったり、奨学金返済の補助やライフサポート制度など。現場からの声を取り入れながら、長く働きやすい環境を作ろうと法人全体で取り組んでいます！

年間休日数

122日

京都ではたらく 協会ではたらく

職場も職歴も異なる、ふたりの中堅と、ふたりの若手。あなたにとって、京都で、そして協会ではたらくことに、どんなよろこびややりがいがありますか？ 4人の対話を通じて「京都と福祉」について考えてみました。

左
法人本部 施設福祉部 部長
稲本 真樹

ケアワーカーとして入職後、生活相談員などを経て法人本部へ。休日には家でゴロゴロ派。

中央左
西七条 訪問介護 マネジャー
高橋 真弓

医療法人から転職。西七条に勤務しておよそ20年。季節ごとに寺社を巡るのが好き。



右
西院 デイサービスセンター
ケアワーカー
岡田 侑弥

2022年入職。公務員を目指していたが、地域や人とのつながりを欲して福祉の世界へ。

中央右
紫野 特別養護老人ホーム
ケアワーカー
永長 楓子

2024年入職。見学の際に好印象を抱き、協会へジョイン。学生時代は哲学を学んだ。

京都だからその、文化との接続

稲本： 私たちの法人って「京都」って名前がついていますよね。今日は改めて、京都にあることのよさ、京都という地域が普段の仕事にどう関係してるのか、なんてことを考えながら、協会らしさってなんやろな、ということをみんなで話せたらと思っています。

高橋： 私の担当は訪問介護で、外で仕事してるから思うんですけど、京都のよさって道がわかりやすいことだと思います。利用者さんのご自宅に行くのにヘルパーと待ち合わせをするんですけど、たとえば今いるところなら「西大路三条」って言えばすぐ合流できる。あとは、お寺で休憩できるのも京都らしいなって思いますね。私の担当の下京なら「佛光寺」とか。座って休めるしトイレも行けるし。

稲本： ああ、お寺、わかります。自分はもともと京都の出身なので、わざわざ観光地の「二条城」とかには行かないんですけど、身近なところにあるお寺がいいんですよ。自分はちょっとお寺オタクみたいなところがあって、このお寺、何宗のお寺やろとか考えたりして。お寺が多いのは京都のよさですよ。

岡田： 自分も京都が地元です。古すぎず新しすぎず、ちょうどいい感じが京都だと思うんです。このあいだ東京に行ってきたんですけど、東京って新しく大きな建物ばかりで。すぐホームシックになりました(笑)

永長： 京都は行事で季節を感じられるのが文化的でいいなと思います。うちの施設だったら、みんなで屋上に上がって「大文字」を見るとか。季節のお祭りを楽しむことが施設の日常にあるのがいいなと思います。あとは自転車ですどこでも行けそうなところとか。



稲本： そうそう。地元の祭のお神輿とかが施設の近くをわざわざ通ってくれたりしますよね。そういうときは京都らしいなって感じます。自分も施設にいたので、それがすごく京都らしくてよかったですね。

高橋： 利用者さんのご自宅の近くでも山車が通るし、お祭りって京都に欠かせないものですね。今、永長さんが言ってくれはったけど、日々の支援にもつながってくるんです。地域のお祭りにかかわっていた方が多いから、祭りの話題から会話が始まって笑顔になったり。

永長： ありますね。私のとこやったら、西陣織に関わっていた方がすごく多くて、皆さん、織物を織るときの手捌きとかを覚えてはるんです。自分がこれを作ったんだって帯を持って来はったりとかして。普段の仕事のなかに文化があるというのは、すごく感じます。

岡田： 地元に住んでいるからわかりにくいかもしれないですけど、地域の文化と支援の仕事がすぐ隣にあるような感覚って、実はけっこうすごいことなのかもしれないですね。

介護だけが、仕事じゃない

稲本： 今日は若手が来てるから改めて聞きたいんですが、なぜ数ある法人のなかで協会を選んだのか聞いてもいいですか？

岡田： 自分は大学では工学部だったので、福祉を学んだわけではなかったんです。もともと何か地域に貢献できるような仕事がいなと思って就活してんですけど、タイミングがめちゃめちゃ遅くて。たまたま就活のサイトを見ていたらサービス協会があったので説明会に行ってみたら、協会の職員さんがわちゃわちゃしてて、一番しゃべりやすい感じがしました。それが大きかったです。

永長： 私も職員さんめっちゃ喋りやすいなって印象がありました。それで、ここがいいなって思っていたら、面接の担当の方も私にいい印象を持っていただけみたいで。それで入りました。

高橋： 両思いやったんや、すてき！ 実際に働いてみてどうだった？

永長： めっちゃ大好きな先輩ばかりです。入職して配属を決めるときに、まったく福祉の仕事が想像できない状態だったので、特にこれという希望はなかったんですけど、採用担当の方に「紫野の施設が合ってるよ」って言われてそこを選びました。実際に来たら、アットホームですごく雰囲気がいいんですよ。

岡田： 自分がいる「西院」も、めっちゃアットホームです。上下関係なんてほとんど感じないし、みんなでいつも冗談言い合ったりしてます。介護って、お風呂やトイレのお世話みたいなことが続くもんやと思って入ったんですけど、それだけじゃない

なと実際に働いてみて思いました。子ども食堂やってたりとか、地域でいろいろな活動してますよね。だから余計に、介護って利用者のくらしのお世話をするだけじゃないんやなっていうのを感じています。



日々「やったぜ」という感覚が積み重なっていく

高橋： 介護の仕事って、本当に生きることそのもののサポートじゃないですか。そもそも人って予測がつかないでしょ？ しかも、日々同じじゃなくて毎日何かが起こる。急に具合が悪くなったり、いろいろな調整が必要になったり。でも、日々みんなでちょっとずつ何か乗り越えていく達成感みたいなものがあるって、「やったぜ」っていうのが積み重なっていく。それが病みつきになっていくところが魅力なんちゃうかな。

稲本： 今は現場を離れて本部にいますが、協会には、現場の職員にそう思ってもらえる環境があると思うんです。みんな自分の仕事に誇りを持ってはるし、自分もそうでしたけど、仕事について粘り強く教えてくれる先輩が多いんですよ。もちろん、利用者さんのことを第一に考えますけど、職員同士、後輩たちの笑顔も引き出そうって考える人が多いように感じます。それを、永長さんも、岡田さんも感じてもらってるんかな……。



高橋： 協会は理念として「くらしに笑顔と安心を」っていう言葉を掲げてますけど、それって、笑顔と安心を提供しようってことよりも、笑顔でいることが安心につながるんだっていうメッセージやと思って。笑顔って「あなたはここにいていいんやで」って気持ちが入められてるものですよ。仕事でなにかあっても、職場の仲間たちが笑顔でおかえりって言うってくれる。だから自分も頑張ろうって思ったり。そういうことの連続が、この仕事を24年も続けられた理由なんじゃないかなって思って。日々その理念をかみしめてます。

永長： 笑顔で思い出したんですけど、うちの先輩たちも、予測不能なことも楽しめるくらいの心の余裕を持ってるんです。利用者さんがなにか突拍子もない行動に出たとしても、そこに乗っかって一緒に楽しんじゃうような。そういう姿勢を先輩たちが見せてくれるから、仕事を続けられているんだなって思いました。

高橋： そうやね。たとえば利用者さんが歌を突然歌い出したとしても、それが浮いて見えないように、その歌が自然とそこにあるように雰囲気をつくっていく。今日も一日いい日やったなって思ってもらえるように、演出やないけど、そう動いていく。ケアの仕事ってすごくクリエイティブやなって私も思います。



岡田： 自然なかたちで何事もなかったようにみんなで雰囲気づくっていくには、チーム全体が意識を共有しないと難しいですよ。だから、まずは自分たちが笑顔にならないとあかんと思いますし、京都って利用者さんにとっての地元でもあるから、京都でくらすこと、京都でやりたいことを一緒になってつくっていくことが利用者さんの思いに応えることに重なってくるんだなって、改めて気づかされました。

稲本： いやあ、若い世代が協会に働いてくれているのを聞いて、すごく誇らしく感じました。京都にくらす皆さんのくらしと一緒につくっていくには、やっぱり協会のみんなが京都を知ることが大事やね。この採用パンフレットのなかにある「マップ」を見ながら、そうやなあ、まずは手始めに、施設の周りにあるお寺めぐりからやっていきましょう！(終)

協会ではたらく 京都でキャリアを重ねる

福祉の仕事ってどんな仕事？

どんな場所で、

どんなふうに働いているの？

そんな疑問にお答えするために、

先輩職員のはたらき方や

キャリアパスをご紹介します。

はたらき方も、職種も、これまでの道のりもさまざま。
多様な職場に、あなたの活躍の場も広がっています。

利用者さんの「きょうも楽しかった」 その一言のために汗をかく

所属 | 西院 デイサービスセンター ケアワーカー
入職 | 2021年
勤務形態 | 日勤

勝見 祥平

勝見さんはデイサービスのケアワーカー4年目。利用者さんのお風呂や食事、日常生活の支援をするのがメインの仕事です。まずは支援の現場からキャリアを重ねています。



日勤	8:30	8:40	9:45	11:45	12:45	13:00	13:30	16:30	17:30
	業務の準備 出勤／朝礼	送迎業務	入浴支援	休憩	レクリエーション 事務作業	おやつ・喫茶	トイレ支援	送迎業務	退勤

自分にとって身近な地域から だれもが安心して暮らせる地域に

所属 | 高齢者福祉施設 本館 地域包括支援センター 社会福祉士

入職 | 2013年
勤務形態 | 日勤

福田 陽太

福田さんはケアマネジャー兼社会福祉士。日々のデスクワークの傍ら、各地区への訪問業務も。さまざまな利用者にかかわるなかで、ひと・地域・制度をつなげています。

日勤	8:30	9:00	9:30	12:00	13:00	17:30
	（新規相談ケースの共有） 出勤／朝礼 ミーティング	事務作業	訪問／相談援助 モニタリング等	休憩	事務作業／会議 モニタリング等	退勤

利用者さんの感謝の言葉と 仲間たちの励ましに支えられて

所属 | 山科事務所 訪問介護員

入職 | 2021年
勤務形態 | 日勤

野口 志浦

野口さんの仕事は、利用者の自宅へ伺ってくらしをサポートする訪問介護員。自転車を使って移動しつつ、空き時間にも新規の利用者の面接、事業所の広報などに関わっています。

日勤	8:30	9:00	10:30	12:00	13:20	15:00	16:00	17:00	17:30
	出勤／朝礼 ラジオ体操 チーム申し送り	ご利用者宅訪問 支援	ご利用者宅訪問 引き継ぎ	休憩	所内ミーティング	新規／利用者との面接 サレシス提供責任者と 申し送り	チーム内情報共有 事務作業	手順書作成	退勤

子どもたちの成長が いつしか自分の喜びになっていく

所属 | 塔南の園児童館 児童厚生員 入職 | 2022年 勤務形態 | 日勤

杉本 凜

児童館で児童厚生員としてはたらく杉本さん。多くの小学生がやってくる午後がもっとも多忙ですが、午前中にも乳幼児親子に向き合う、まさに子どもと真正面の働き方です。

日勤	10:00	10:10	10:30	13:00	14:00	14:30	16:30	17:00	18:30
	出勤／開館	事務作業／活動準備	受け入れ親子始	昼食／休憩	ミーティング 学童クラブ受け入れ準備	自由来館受け入れ	片付け／帰りの会	小学生送り出し お迎え時の保護者対応 事務作業／館内清掃	閉館／退勤

13

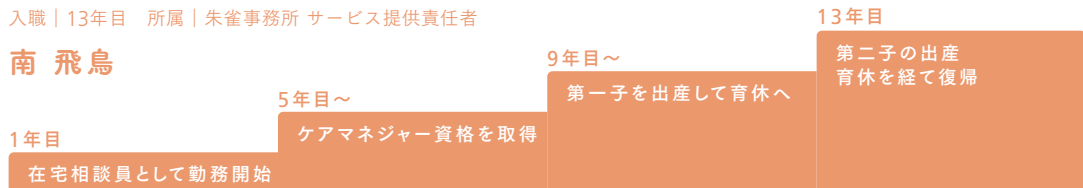
働き方について

1

先輩のキャリアパス



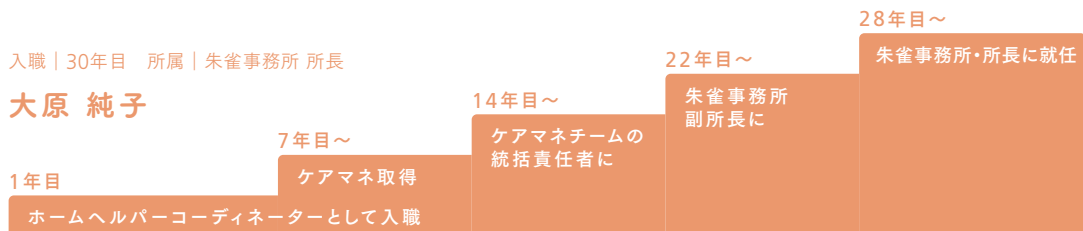
大学で福祉を学んだこともあり、入職当時から「相談員になりたい」と希望を語ってくれていた岡本さん。特別養護老人ホーム「小川」の介護職として経験を重ねながら、3年目で介護福祉士を取得。現在小川に在籍しながら、ご本人やご家族と社会とをつなげる相談員として活躍しています。



大学在学中に社会福祉士、入職後に介護福祉士とケアマネジャーの資格を取得した南さん。入職9年目から3年半ほど産休・育休を取得し、2024年に復帰。先輩職員やヘルパーに見守られ、ふたりの子を育てながら時短勤務で働いています。自分の状況や人生設計に合わせた働き方が可能です。



ケアワーカーとして入職後、相談員として活躍するも、4年目からは社会福祉士を目指す人たちの実習に関わるようになった小谷さん。その後、施設の総務に関わり、現在は人材マネジメントの部署へ。現場で培った経験が、「福祉を仕事にする人たちを支える」という現在の仕事に役立てられています。



大学在学時に社会福祉士を取得後、ホームヘルパーのコーディネーターとして入職。その後、ケアマネジャーの資格を取得し多くの部署を経験。現在は朱雀事務所の所長として職員を支える責任ある立場へ。協会にはさまざまな施設・職種があるため異動もありますが、多様な経験・キャリアを積むことができます。

人材研修センターへGO!!



互いに学び、 共に育ち合う 場づくり

協会ではたらく職員も、地域の人のちも互いに学び、共に育つ場として、私たちは独自に「人材研修センター」を運営しています。介護福祉士実務者研修、介護職員初任者研修など福祉職のキャリアアップに役立つ研修や、一般の方向けの介護

講座などを実施しています。なんの資格もなかった人たちが、介護を学び、お互いを支え、高め合いながら支援の場に入り、くらしを支える。それが私たちの原点。私たちは、これからも、職員の一人ひとりの成長に寄り添います！

入職5年目 主任ケアワーカー
扶養家族なし

A 年収 432 万円
給与詳細 月給 30万円
賞与 72万円

手当など 役職手当・資格業務手当・超過勤務手当(10時間)・早出手当(5回)・遅出手当(5回)・夜勤手当(4回)・通勤手当

入職10年目 マネジャー
扶養家族2名

B 年収 468 万円
給与詳細 月給 32.5万円
賞与 72万円

手当など 役職手当・資格業務手当・超過勤務手当(10時間)・早出手当(5回)・遅出手当(5回)・夜勤手当(4回)・通勤手当

入職20年目 管理職(部長)
扶養家族2名

C 年収 603 万円
給与詳細 月給 41万円
賞与 111万円

手当など 役職手当・通勤手当

給与モデル

14

キャリアパス・給与モデル

Local Action

京都福祉サービス協会の ローカル・アクション

「京都」を掲げた社会福祉法人として、
私たちは地域でのさまざまな
活動を行っています。

このコーナーでは、数ある活動のうち、
象徴的な3つの活動を紹介。
ローカルなアクションにこそ、
協会の理念と未来が
読み取れるかもしれません。



授与式では、理事長の宮路博が京都市の松井市長から直々に認定書を授与された

ソシヤルイノベーションに取り組む企業
を応援する京都市の取り組み「これからの
1000年を紡ぐ企業」に、社会福祉法人
として初めて認定されました。この制度は、
持続可能な社会の実現を目指し、社会課
題をビジネスで解決する企業や、課題を生
まない新しい商品・サービス・システムをつ
くり出す企業を、京都市が認定する制度で
す。これまでに京都市内の84社（2024年
3月時点）が認定を受けています。
協会は、これまでもさまざまな地域での取
り組みを進めてきましたが、地域共生社会の
実現をより進化させたいと考え、市に申請を
行ったところ、このたび認定をいただくことが
できました。困りごとを抱えた利用者だけで
なく、地域に生きるさまざまな人たちが、そして
企業や団体とさらなる連携を進め、「だれもが
自分らしくくらせる京都」の実現のため、地域
福祉、共生の取り組みを前進させていきます！

社会福祉法人として初

京都市「これからの1000年を紡ぐ企業」に認定

山科・西野山団地で はじまる福祉を ベースにしたコミュニティ デザイン

京都市中心部から車で30分。山科区の西野山団地でコミュニティデザインの取
組みが始まっています。協会と団地自治会、京都市が連携し、空き部屋のリノベーション、
居場所づくりといった「ハード」の整備から、住民とのさまざまなイベント企画や、日々
のくらしの相談など「ソフト」な取り組みも継続して行っています。

高齢者率65%を超える西野山団地。福祉サービスにつながる人ばかりではありません。
だからこそ、専門性を持つ人たちが、多様なリソースを投じて住民と向かい合う「重層的
支援」の実践の場になりつつあります。大学生など若い世代の参画も増えてきました。
百聞は一見に如かず。気になる方は、ぜひ西野山団地に遊びにいらしてください。



対話を通じてこれからの「ビジョン」を考える 2030VISION構想プロジェクトが進行中



力のあるイラストが印象的なVISIONプロジェクトポスター。
それぞれの事務所にも貼られています。



2024年夏。協会のこれからのビジョンを対話を通じて考える
「2030VISION構想プロジェクト」が始まりました。このプロジェクトは、2
030年、近未来を見据えた協会の新しいビジョンを、対話やワークショップ
などを通じて考えていくプロジェクトです。すでに、職員を対象とした
VISIONワークショップが始まっていて、たくさんの職員が参加しています。
協会らしさとはなにか。私たちが日々、実践してきたことはなんなのか。
これからの時代に求められる社会福祉法人の役割とはなんなのか。私たち
が進むべき「道しるべ」を、幹部に任せるのではなく職員たちの声からつく
り出します。新しいVISIONは、2025年4月に発表され、そのVISION
は、協会の新たな事業計画にも反映されていくことになります。
2030VISION構想プロジェクトは、ぼくみんなの今津新之助さん、クリエ
イティブディレクターの坂本大祐さん、地域活動家の小松理度さんほか、法
人外部の人たちとの協働により進められています。こうして協会の外にい
る人たちとも、共に未来をつくりあげていく。ひらかれた社会福祉法人と
してのあり方も模索しながら、VISIONづくりが進められています。

